

参考までに、ムツボシタマムシのデータも報告しておきたい（筆者採集分のみ）。

〈ムツボシタマムシ採集データ〉

- ①兵庫県川西市笹部；21-VI-1970, 1♀. 26-VI-1983, 2♂1♀. 1-VI-1983, 1♀. 12-VII-1985, 1♀.
- ②兵庫県猪名川町横尾；12-VI-1983, 2♂1♀.
- ③兵庫県猪名川町三草山南腹；15-VI-1975, 1♀. 17-VI-1990, 1♂. 15-VI-1991, 1♀.
- ④兵庫県猪名川町杉生新田；15-VI-1991, 1♀.
- ⑤兵庫県篠山町天引峠；18-VI-1988, 1♀.
- ⑥京都府園部町八乙女<sup>はつとめ</sup>；3-VI-1988, 1♂. 26-VI-1988, 1♀. 13-VI-1991, 1♀

（付記）ツシマムツボシタマムシは兵庫県下で次の様な記録地があるので付記しておく。

宍粟郡波賀町戸倉〔大平, 1982〕. 美方郡温泉町蒲生峠〔谷角, 黒井, 1986〕.

（高橋）

## 川西市見野にてトラフカミキリ採集

森 和 夫

見野地区は、川西市の北部にあって、能勢電鉄山下駅から南西側に拡がり、南北及び東西が各々7～800m程の小さな盆地である。

この地区は、古くから農業が中心であったと考えられ、上ノ田、不毛ノ谷、大根畑など農地に関する<sup>あざ</sup>字（地名）が多い。自然林らしいものは、市杵島神社の境内にわずかに残っている程度であったが、今では宅地化が進んでいて、農地は減少し、河川も汚れてきている。筆者自身も1982年に当地に居住するようになったが、地区内には興味を引くような所は無かった。

ところが、当時、小学1年生であった、近所の中村尚平君と豊田啓啓君の2人が、名前を教えてほしいと言って持って来た虫が、トラフカミキリ *Xylotrechus chinensis* CHEVROLAT であった。さっそく、採集場所へ案内してもらったところが、山下駅に近い幼稚園であった。この園内の桑の老木に発生していた。捜してみると樹幹や枝にじっと止っていて、筆者自身も4頭を採集することができた。この桑の木は、園児達に実を取らせたいと考え、園長先生が植えられたものだそうであり、幹の各所

が朽ちていて、よく見るとカミキリが脱出した穴が各所に空いていた。また、園内には、もう1本の若い桑の木があり、この木も捜してみた。こちらからはトラフカミキリは見付けられなかったが、葉裏からハラグロオオテントウ（3頭）を採集することができた。

その後は、いつでも行けると思い、行きそびれていたところ、この老木は、1987年初の頃に切られ、根こそぎ処分されてしまった。朽ちて来て、園児が怪我をする心配が出てきたためとのことであった。

残念に思い地区内を調べたところ、桑の木は何本かあったが、トラフカミキリの方は見付けられずにいた。

調べた中で、最も大きいものは、山下駅の横の木であった。電車の高架よりも、高くそびえ、10mを越す大木であった。しかし、この木も1991年6月下旬に根元から切り倒されてしまった。切られた木は、何に使われる訳でもなく、空地に積み上げられていたため、もしやと思い見に行った。伐採され積み上げられた幹等には何も見られなかったが、切り株を見ると、トラフカミキリが止っていた。この個体は、産卵中であり、切り株の反対側でもう1頭と、飛んでいた1頭を得ることができた。

後記にまとめた採集データのように、次の休日にも見に行き、採集することができた。これらは、飛翔中の1頭を除き、いずれも切り株に止っていたものである。切り株の横には、伐採された材が山のように積まれているにもかかわらず、それらには全く見向きもしないようであった。

#### 《採集データ》（筆者採集分のみ）

##### ①川西市見野字東橋詰（幼稚園内）

16-VI-1985, 4exs.

##### ②川西市見野字北山形（山下駅横）

14-VII-1991, 3exs. 19-VII-1991, 1exs. 20-VII-1991, 2exs.

この地区に引越して来た頃は、買物にも不自由するような所であったが、その後、電車は増発され、道や下水等も整備されて住み易くなってきた。また、最近では、近郊農地の課税対策とかで、駅周辺の至る所の空地や田畑が、住宅や駐車場に変わってきている。それと共に、地区内の木も次々と切り倒されている。残存する数少ない木で、生き長らえてくれればと願っているが、当地では、これまで本種の報告が無かったようであるため、記録に留めておきたい。